

2011年度

# 流動客調査結果

(福山市中心部地区・松永地区)

～総流動客数の減少続く

～アイネスフクヤマ・ローズコムを中心に人通り増加も～

※ここでは前回調査(2008年度)と比較して対前回比を算出しています。

●福山市中心部地区は、平日2.6%減・休日8.7%減

●松永地区は、平日10.4%減・休日23.5%減

●福山市中心部地区、松永地区ともに休日が平日の流動客数を下回る結果

●大規模小売店舗入店客数は、駅前店は、平日15.7%減・休日17.7%減

●郊外店は、平日32.3%減・休日44.2%減

●駅前店、郊外店ともに休日が平日の入店客数を上回る結果

## 調査結果の概要

### 1 福山市中心部地区について

#### (1) 総流動客数

福山市中心部地区の平日の総流動客数は147,502人(共通45地点、以下同じ)で、前回調査(2008年度)の97.4%、休日は129,177人(前回調査の91.3%と減少している。

休日対平日比は、2001年度(平成13年度)、2005年度(平成17年度)、2008年度(平成20年度)調査と同様に、休日の流動客数が平日を下回る結果となった。(表1)

平日の流動客数は、通勤・通学者による鉄道・バス等の利用時間帯で流動客数が多くなっており、前回調査と概ね同じ傾向を示しているのに対し、それ以外の時間帯では減少傾向がみられ、全体としても前回調査を下回る結果となった。

休日では、前回調査を上回った時間帯もみられたが、減少の度合いが平日を上回っており、休日と平日の較差が大きくなった。

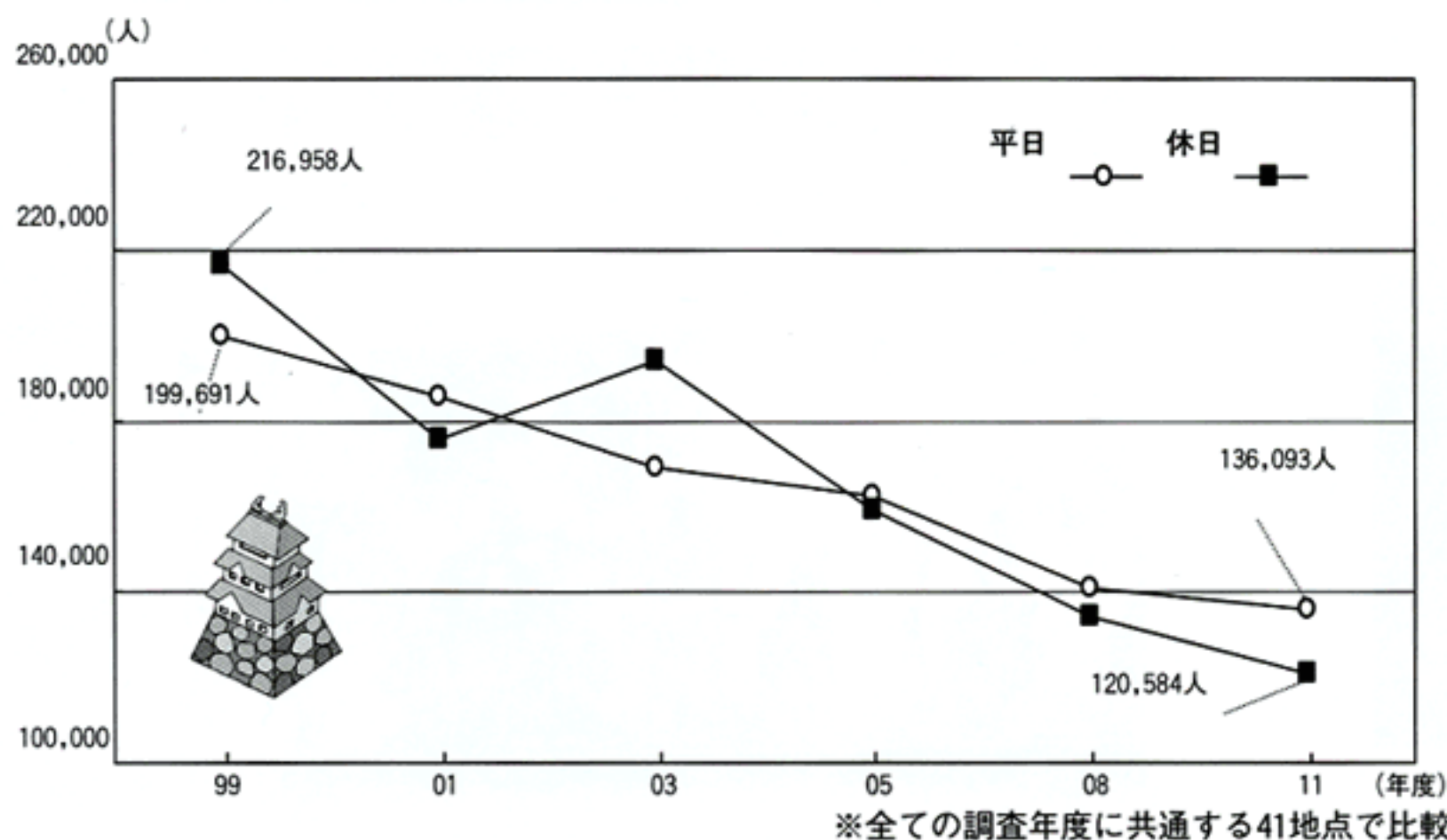
1999年度(平成11年度)以降の流動客数の推移をみると、平日は1999年度(平成11年度)以降減少傾向を示している。また、休日も同様に減少傾向を示しており、2003年度(平成15年度)に一旦増加したものの、2005年度(平成17年度)には再び減少に転じ、200

表1 総流動客数 (単位：人)

| 区分       |            | 平日               | 休日                | 休日対平日比 |
|----------|------------|------------------|-------------------|--------|
| 福山市中心部地区 | 今回(2011年度) | 147,502          | 129,177           | 87.6%  |
|          | 前回(2008年度) | 151,377          | 141,419           | 93.4%  |
|          | 対前回比       | ▲ 3,875<br>97.4% | ▲ 12,242<br>91.3% | —      |
| 松永地区     | 今回(2011年度) | 6,732            | 3,844             | 57.1%  |
|          | 前回(2008年度) | 7,512            | 5,025             | 66.9%  |
|          | 対前回比       | ▲ 780<br>89.6%   | ▲ 1,181<br>76.5%  | —      |

\*前回の調査結果と比較すると、福山・松永地区ともに、平日・休日いずれも減少している。

図1 福山市中心部地区の総流動客数の推移

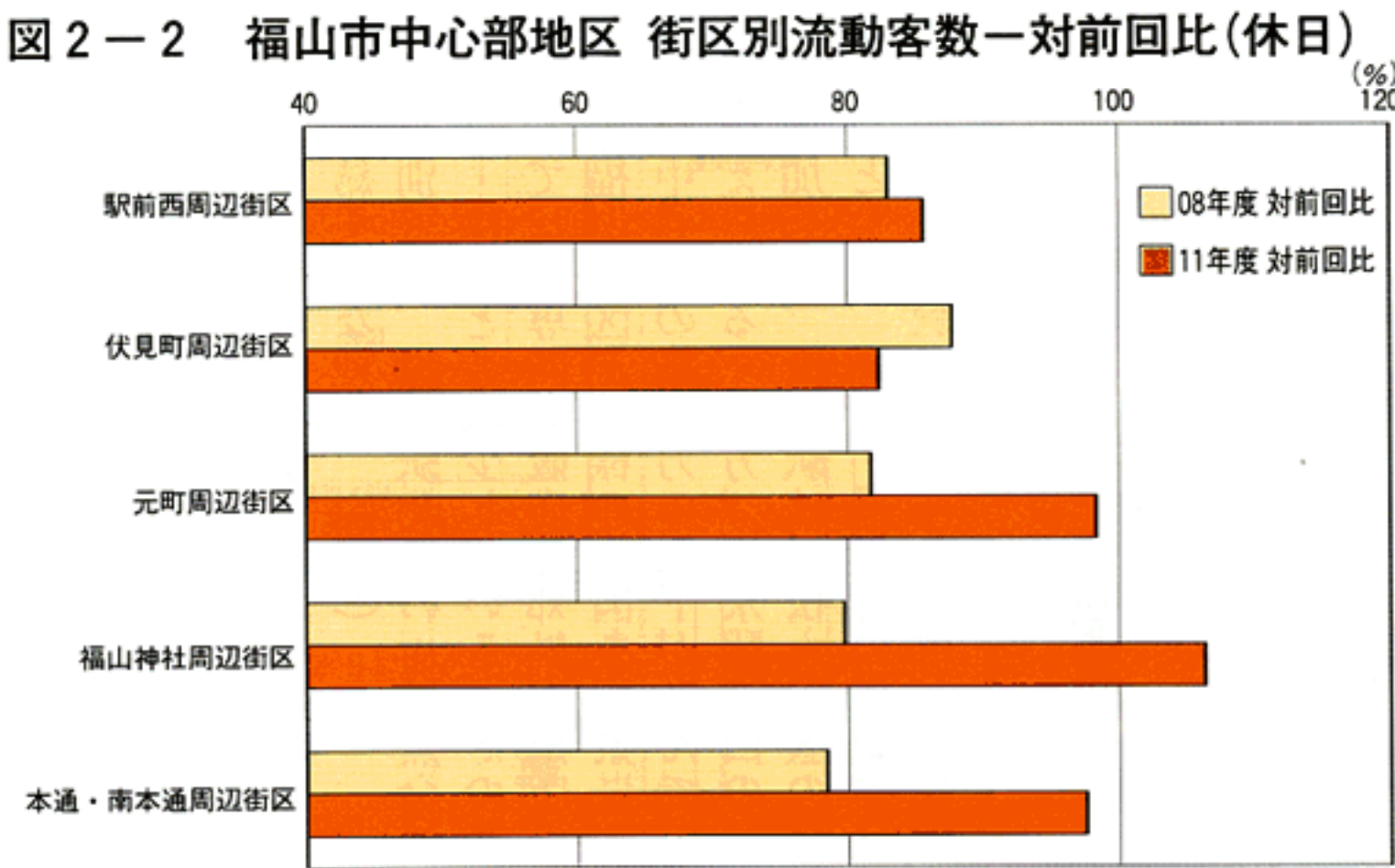
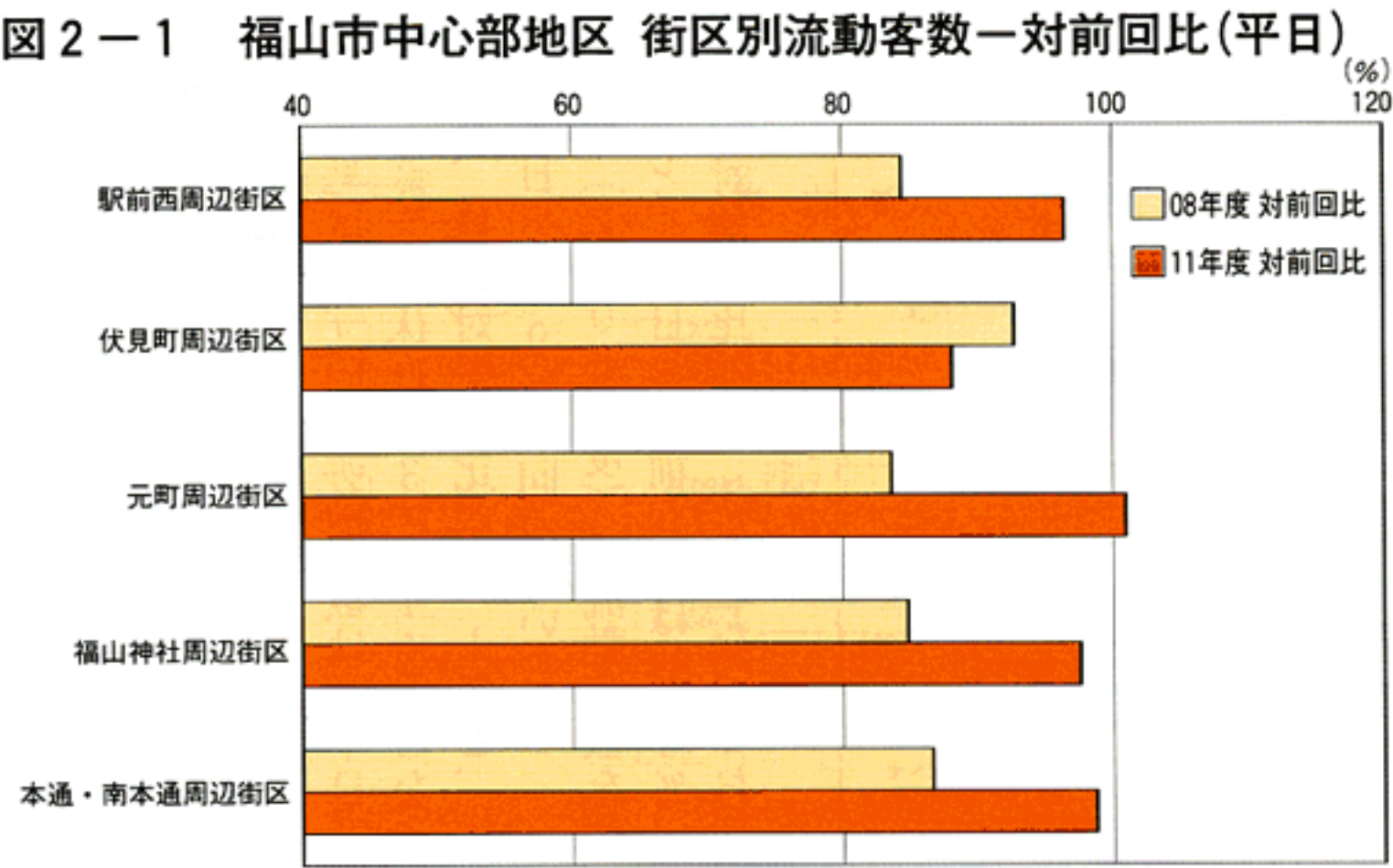


1年度(平成13年度)・2005年度(平成17年度)・2008年度(平成20年度)と同様に平日の流動客数を下回る結果となっている。(図1)

(※全ての調査年度に共通する地点(41地点)で比較している。)

福山市中心部地区は、商業・業務等の都市機能が多数集積しており、また、鉄道やバス等の公共交通の結節点で、広域からの集客能力の高い場所であるが、流動客数の減少が続いている。

この要因としては、モータリゼーションの進展による消費行動の広域化やライフスタイルの多様化、専門量販店等郊外大型店の新規出店による顧客の流出が挙げられる。さらに、リーマンショックから回復基調にあった消費動向が、東日本大震災による消費マインドの冷え込みを招いたこと等が影響しているものと推測され、当地区を取り巻く商業環境が依然として厳しい中で、流動客の減少が続いているものと考えられる。



(2) 街区別流動客数

福山市中心部地区における流動客数を「街区」別に表したものが表 2 である。街区別流動客数をそれぞれの平均値で見ると、「伏見町周辺街区」が平日で 4,960 人、休日で 4,516 人と両日とも最も多く、以下「駅前西周辺街区」、「元町周辺街区」、「福山神社周辺街区」、「本通・南本通周辺街区」と続いている。休日対平日比では、「駅前西周辺街区」が対平日比 101.8%と休日の流動客数が平日の流動客数より多くなっている。街区別の流動客数を前回調査と比較す

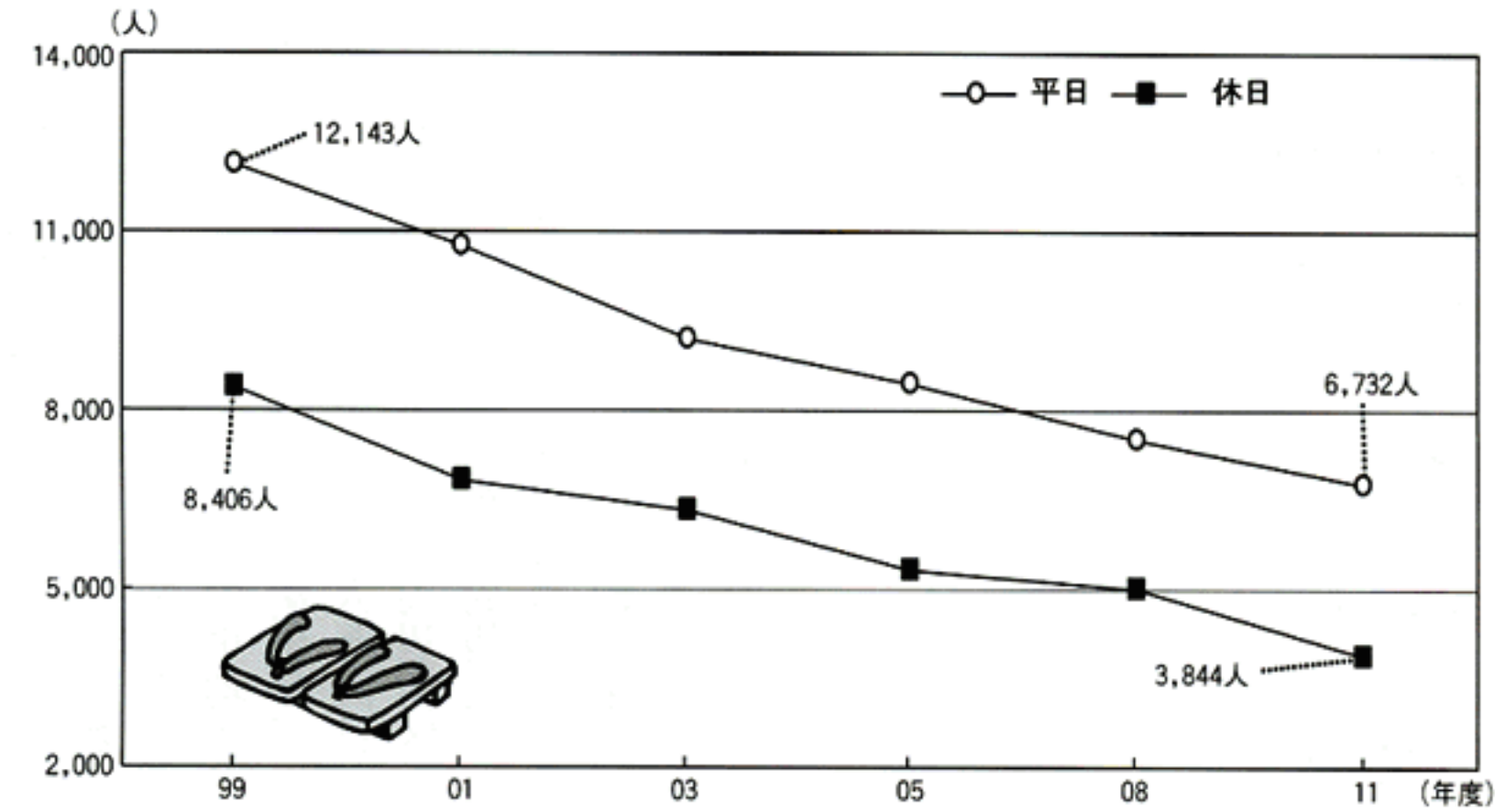
ると、平日の「元町周辺街区」が対前回比 100.9%、休日の「福山神社周辺街区」が対前回比 106.3%と増加に転じている。また、地点別流動客数の前回調査との比較では、平日・休日とも広範囲の地点で増加した。(表 2・図 2-1・2-2)

特に、「駅前西周辺街区」の駅前広場に隣接する地点のほか、ローズコムに至る沿線の増加が顕著である。この他の街区においても、増加した地点が多くある。この要因としては、4 月にオープンしたアイネスフクヤマが集客拠点となり、魅力的な街並みが形成された宮通りや久松通

表 2 福山市中心部街区別流動客数 \*調査地点の位置については地図 1・2(7P)参照。(単位：人)

| 区分・調査地点数                                              |                     | 平 日                      | 休 日                      | 休日対平日比 |
|-------------------------------------------------------|---------------------|--------------------------|--------------------------|--------|
| 駅前西周辺街区<br>(12 地点：1・2・3・4・5・6・7・9・42・56・57・58)        | 今回(2011年度)<br>(平 均) | 49,035<br>(4,086)        | 49,926<br>(4,161)        | 101.8% |
|                                                       | 前回(2008年度)<br>(平 均) | 50,883<br>(4,240)        | 58,320<br>(4,860)        | 114.6% |
|                                                       | 対 前 回 比             | ▲ 1,848<br>96.4%         | ▲ 8,394<br>(減少率2位) 85.6% | —      |
| 伏見町周辺街区<br>(6 地点：10・11・12・13・14・41)                   | 今回(2011年度)<br>(平 均) | 29,760<br>(4,960)        | 27,095<br>(4,516)        | 91.0%  |
|                                                       | 前回(2008年度)<br>(平 均) | 33,789<br>(5,632)        | 32,941<br>(5,490)        | 97.5%  |
|                                                       | 対 前 回 比             | ▲ 4,029<br>(減少率3位) 88.1% | ▲ 5,846<br>(減少率1位) 82.3% | —      |
| 元町周辺街区<br>(6 地点：18・19・20・22・43・49)                    | 今回(2011年度)<br>(平 均) | 20,668<br>(3,445)        | 15,807<br>(2,635)        | 76.5%  |
|                                                       | 前回(2008年度)<br>(平 均) | 20,487<br>(3,415)        | 16,083<br>(2,681)        | 78.5%  |
|                                                       | 対 前 回 比             | 181<br>100.9%            | ▲ 276<br>98.3%           | —      |
| 福山神社周辺街区<br>(5 地点：26・27・28・30・32)                     | 今回(2011年度)<br>(平 均) | 11,736<br>(2,347)        | 10,504<br>(2,101)        | 89.5%  |
|                                                       | 前回(2008年度)<br>(平 均) | 12,039<br>(2,408)        | 9,878<br>(1,976)         | 82.1%  |
|                                                       | 対 前 回 比             | ▲ 303<br>97.5%           | 626<br>106.3%            | —      |
| 本 通 ・ 南 本 通<br>周 辺 街 区<br>(7 地点：33・35・37・38・39・40・55) | 今回(2011年度)<br>(平 均) | 15,847<br>(2,264)        | 9,998<br>(1,428)         | 63.1%  |
|                                                       | 前回(2008年度)<br>(平 均) | 16,054<br>(2,293)        | 10,259<br>(1,466)        | 63.9%  |
|                                                       | 対 前 回 比             | ▲ 207<br>98.7%           | ▲ 261<br>97.5%           | —      |
| 街 区 合 計<br>(36地点)                                     | 今回(2011年度)<br>(平 均) | 127,046<br>(3,529)       | 113,330<br>(3,148)       | 89.2%  |
|                                                       | 前回(2008年度)<br>(平 均) | 133,252<br>(3,701)       | 127,481<br>(3,541)       | 95.7%  |
|                                                       | 対 前 回 比             | ▲ 6,206<br>95.3%         | ▲ 14,151<br>88.9%        | —      |

図3 松永地区の総流動客数の推移



2 松永地区について

(1) 総流動客数

松永地区の今回の流動客数は、平日で6,732人、休日で3,844人となっており、休日対平日比が57.1%と、休日が平日を42.9%下回っている。前回(2008年度)の流動客数を比較すると、平日の対前回は89.6%、休日の対前回は76.5%となっており、

りからローズコムへの経路を中心に、まちなかの回遊性が向上したためと考えられる。

平日で10.4%、休日で23.5%の流動客数が減少している。(表1)

1999年(平成11年)以降平日・休日ともに減少傾向にあり、当地区ではこれまでと同様、休日が平日の流動客数を下回る結果となった。(図3)

地点別では、松永駅北側の4地点全てで平日・休日とも減少している。その要因としては、専門量販店等郊外大型店の影響等福山地区と同様の要因を背景に、市街地中心部の集客力の低下が進んでいると考えられる。一方、松永駅南口の平日は増加した。松永駅は、松永地区の交通拠点として、通勤・通学者の多い平日の時間帯で、駅南口からの利用が伸びたためと考えられる。

3 大規模小売店舗入店客数

大規模小売店舗の入店客数の対前回はおよび休日対平日比をあらわしたものが表3である。

平日の入店客数の対前回は、駅前店が84.3%、郊外店が67.0%で、休日の対前回は、駅前店が82.3%、郊外店が55.8%となっており、駅前店・郊外店いずれも、平日・休日ともに減少している。休日対平日比をみると、駅前店は120.6%、郊外店は147.2%で、平日より休日の入店客数が多い結果となり、郊外店は駅前店より休日の集客力が高いことがうかがえる。

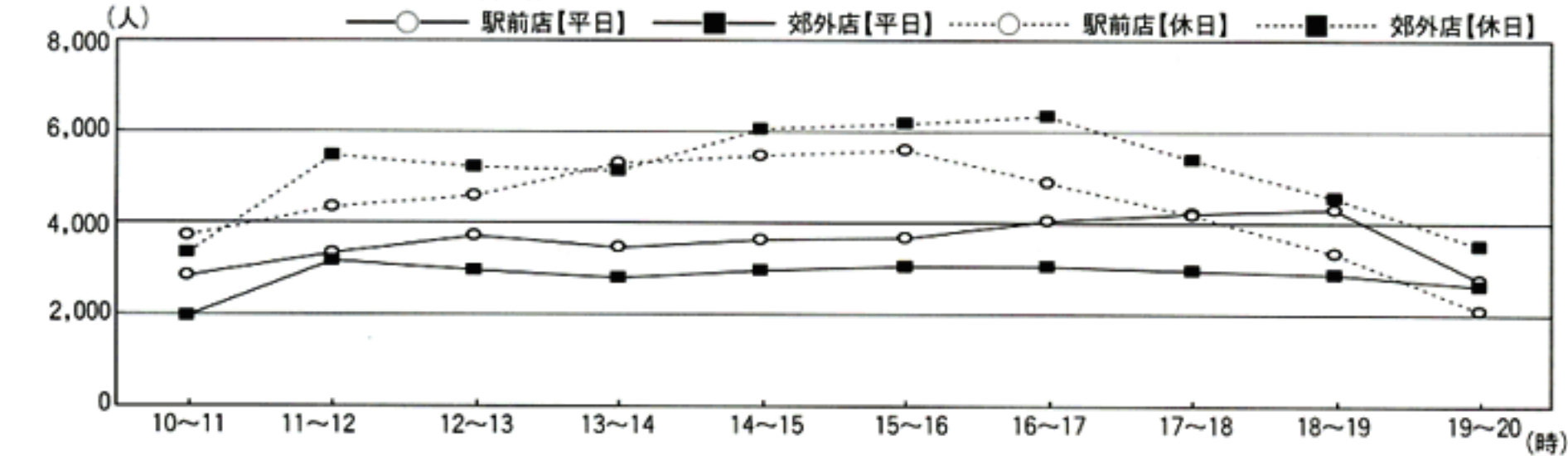
入店客数の時間ごとの変動をみると、平日は駅前店の入店客数が13時にかけて増加し、その後、16時まで概ね横ばいの入店客数で推移している。17時から再び入店客数は増加し始め、19時にピークを迎えている。

表3 福山市内大規模小売店舗入店客数

| 区分  | 平日の対前回は | 休日の対前回は | 休日対平日比 |
|-----|---------|---------|--------|
| 駅前店 | 84.3%   | 82.3%   | 120.6% |
| 郊外店 | 67.0%   | 55.8%   | 147.2% |

えている。郊外店では、12時にかけて入店客数が増加するものの、それ以降は概ね横ばいの入店客数で推移している。休日は、駅前店の入店客数は、16時にピークを迎えている。郊外店の入店客数は、12時にかけて一度増加し、その後やや減少するものの、15時から再び増加に転じ、17時にピークを迎えている。(図4)

図4 時間別入店客数の推移



【調査目的】

1964年度(昭和39年度)以降定期的に実施しており、福山・松永地区の市街地中心部の一定地点における流動客の状況を把握し、活力ある都市づくりと商店街振興のための基礎資料とするもの。

【調査日】

平日：2011年(平成23年)6月3日(金) 晴れ  
休日：2011年(平成23年)6月5日(日) 曇り

【調査実施機関】

福山市・福山商工会議所

|           | 流動客調査                                      | 大規模小売店舗入店客調査                 |
|-----------|--------------------------------------------|------------------------------|
| 調査区分・調査地点 | 福山地区：福山市中心部 45地点<br>松永地区：JR松永駅周辺 5地点       | 駅前店 5店舗<br>郊外店 8店舗           |
| 調査時間      | 9時～19時までの10時間                              | 10時～20時までの10時間               |
| 調査対象      | 中学生以上(推定)の歩行者および自転車利用者                     | 中学生以上(推定)の入店者                |
| 調査方法      | 調査地点を通過する通行者数を通行方向別に数取器により計測し、30分ごとに調査票へ記入 | 調査店舗ごとに入店客数を計測し、1時間ごとに調査票へ記入 |

凡例：●は増加地点



凡例：●は増加地点

